

## 高潮浸水想定区域図の公表に伴う対応について

都は、平成 27 年 5 月の水防法改正に基づき、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に生じる浸水が想定される区域を示した図（高潮浸水想定区域図）を初めて作成し、平成 30 年 3 月に公表した。

今後、都の高潮特別警戒水位の決定を待って、気象情報等の伝達方法や避難所等を記載した高潮ハザードマップを作成し、区民周知を行う。

なお、高潮浸水想定区域図に示された被害の発生する確率は、1,000 年から 5,000 年に 1 度起きる確率とされている。

### 1 公表された資料

- (1) 東京都高潮浸水想定区域図〔想定最大規模〕（浸水深）
  - (2) 東京都高潮浸水想定区域図〔想定最大規模〕（浸水継続時間）
- ⇒(1)(2)の詳細な資料については、以下のファイルに保存してあります。
- 0:¥業務文書¥組織別¥10-総務部¥103500 防災課¥高潮浸水想定区域図確認

### 2 シミュレーションの主な特徴

- (1) 想定する台風の規模  
中心気圧：910hPa（室戸台風級を想定）  
移動速度：73km/h（伊勢湾台風級を想定、台風経路上で一定速度）
- (2) 想定する台風の経路  
東京湾において潮位偏差が最大となるよう、過去に東京湾で大きな潮位偏差を生じた台風や、全国的に大きな被害をもたらした台風を参考として、大正 6 年台風、キティ台風、伊勢湾台風の 3 方向の台風コースを選定した。  
※潮位偏差とは  
天体の動きから算出した「天文潮位（推算潮位）」と、気象等の影響を受けた実際の潮位との差（ずれ）をいう。
- (3) 海岸保全施設等  
平成 29 年 3 月末時点の高潮対策施設、洪水調整施設等の整備状況をもとにしている。

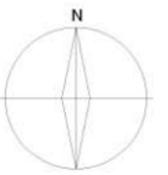
### 3 本区への影響範囲

- (1) 浸水想定区域  
後楽、水道、関口、目白台の一部の地域では、浸水被害の発生が見込まれ、特に関口一丁目の一部においては、浸水深 5 m 以上の被害が想定されている。
- (2) 浸水継続時間  
後楽、水道の一部の地域においては、浸水継続時間が 1 週間以上と想定されている。

### 4 今後の対応（予定）

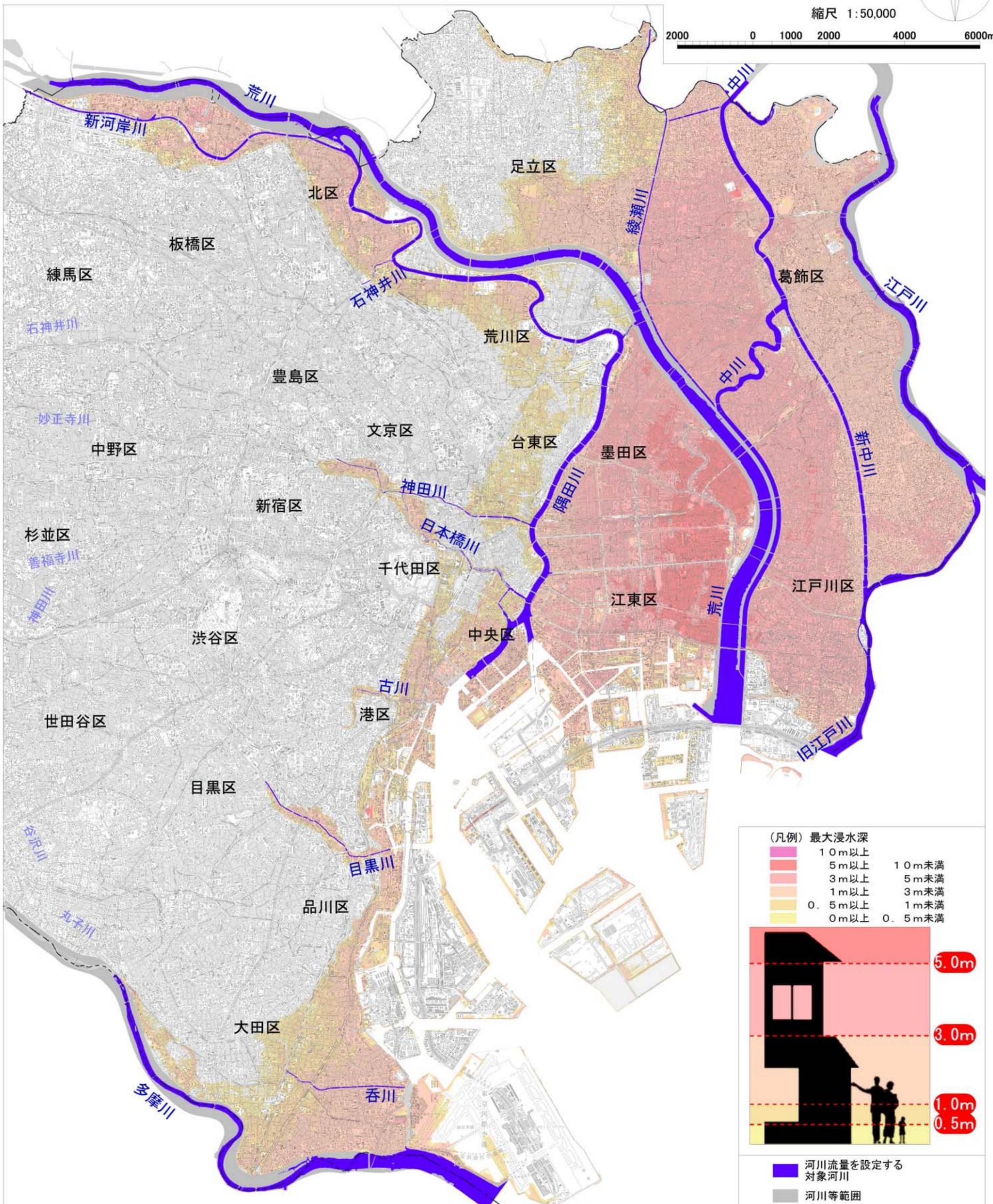
- ・平成 30 年 5 月 21 日（月）・23 日（水） 地域防災計画検討委員会・部会にて説明
- ・平成 30 年 6 月 11 日（月） 災害対策調査特別委員会報告
- ・平成 30 年 6 月～7 月 関係町会に高潮浸水想定区域図を周知
- ・都の高潮特別警戒水位の決定後、高潮ハザードマップ作成

# 東京都高潮浸水想定区域図 [想定最大規模] (浸水深)



縮尺 1:50,000

2000 0 1000 2000 4000 6000m



(凡例) 最大浸水深

1.0m以上	1.0m未満
5.0m以上	5.0m未満
3.0m以上	3.0m未満
1.0m以上	3.0m未満
0.5m以上	1.0m未満
0.5m以上	0.5m未満

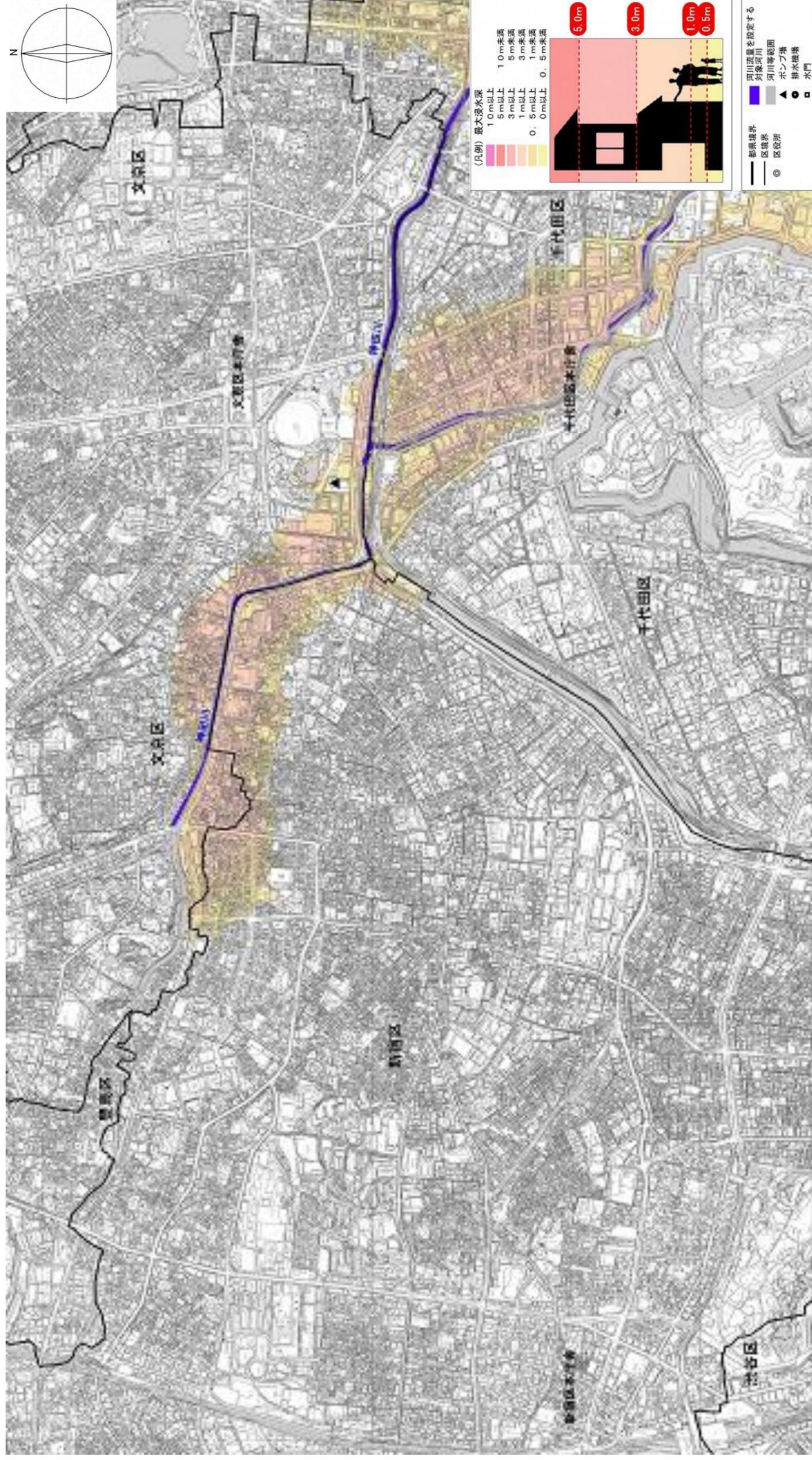
■ 河川流量を設定する対象河川  
■ 河川等範囲

1 説明  
 (1) この図に関する詳細な説明については、「高潮浸水想定区域図について(説明資料)」をご参照ください。  
 (2) この図は、東京湾沿岸(東京都区間)において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が海岸や河川から発生した場合に、浸水が想定される区域(高潮浸水想定区域)、想定される浸水の深さを表示した図面です。  
 (3) この図で示す高潮浸水想定区域等は、海岸保全施設や高潮の影響を受ける河川施設の整備状況を踏まえた上で、高潮に加え計画規模の降雨による洪水も考慮した浸水の状況を、シミュレーションにより想定したものです。作成にあたっては、台風の経路や堤防が決壊する条件を想定した複数のシミュレーションを行い、それらの結果から各地点の最大となる浸水の深さを抽出し統合しています。  
 (4) なお、シミュレーションは、想定し得る最大規模の高潮を対象に実施していますが、それをさらに上回る規模の高潮の発生や、想定し得る最大規模の洪水との同時発生、地震による堤防等への影響、下水道や地下鉄等の地下施設による影響等を考慮していません。このため、実際の高潮時には、高潮浸水想定区域以外の場所においても浸水が発生する場合や、浸水の深さが異なる場合があります。

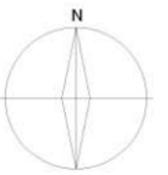
2 基本事項等  
 (1) 作成主体 東京都(港湾局、建設局)  
 (2) 作成年月日 平成30年3月30日  
 (3) 対象となる海岸 多摩川河口(神奈川県境)から旧江戸川河口(千葉県境)まで  
 (4) 作成の前提となる高潮 上陸時中心気圧910hPa、最大旋衡風速半径75km、移動速度73km/hの台風による高潮  
 (5) 関係区 千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、北区、荒川区、板橋区、足立区、葛飾区、江戸川区

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。  
 (承認番号 平29情復、第1433号)  
 承認を得て作成した複製品を第三者がさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

# 東京都高潮浸水想定区域図〔想定最大規模〕（浸水深）

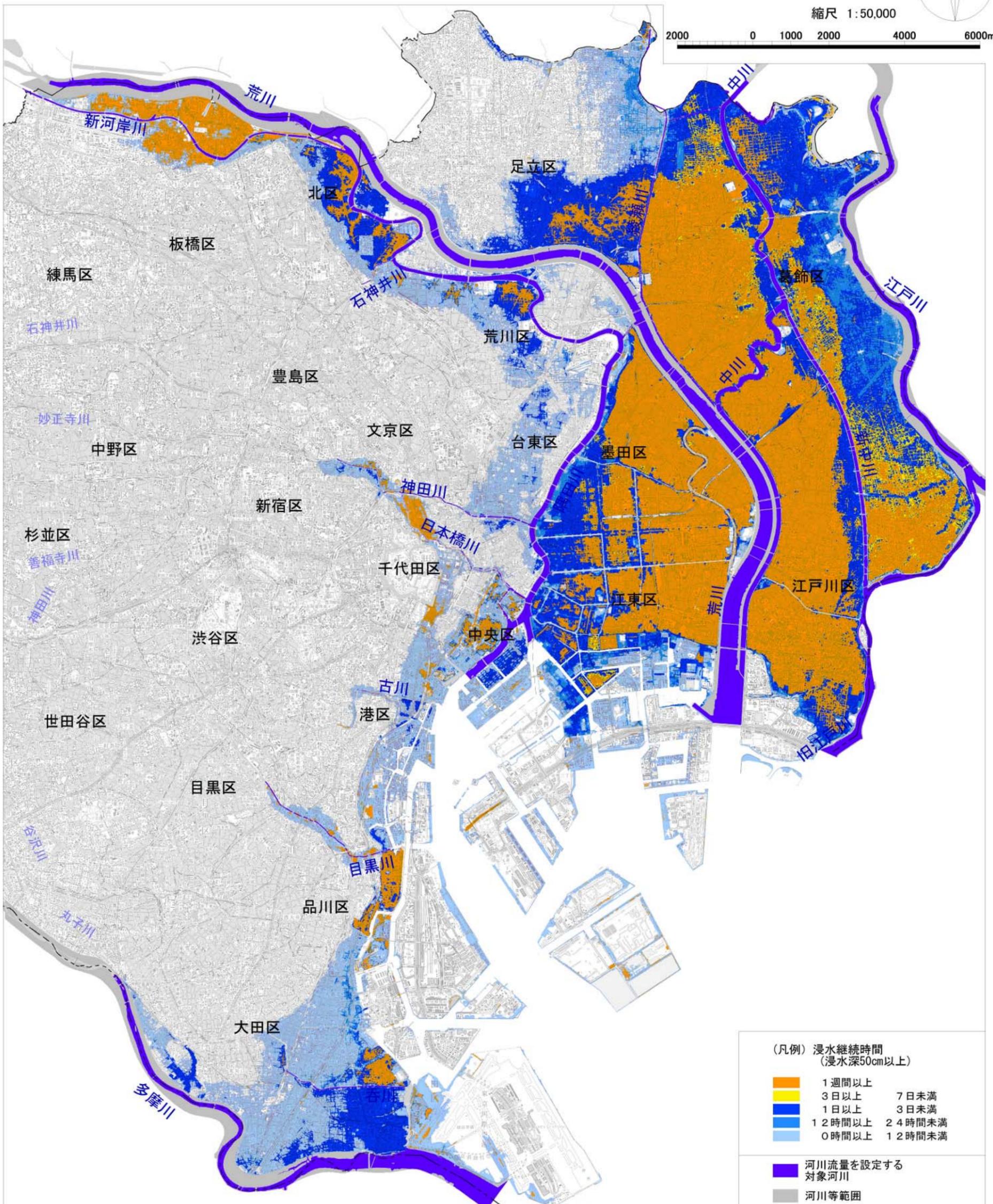


# 東京都高潮浸水想定区域図 [想定最大規模] (浸水継続時間)



縮尺 1:50,000

2000 0 1000 2000 4000 6000m



(凡例) 浸水継続時間  
(浸水深50cm以上)

■ 1週間以上	■ 7日未満
■ 3日以上	■ 3日未満
■ 1日以上	■ 24時間未満
■ 12時間以上	■ 12時間未満
■ 0時間以上	■ 12時間未満

■ 河川流量を設定する対象河川  
■ 河川等範囲

## 1 説明

- この図に関する詳細な説明については、「高潮浸水想定区域図について(説明資料)」をご参照ください。
- この図は、東京湾沿岸(東京都区間)において、水防法の規定により定められた想定し得る最大規模の高潮による氾濫が海岸や河川から発生した場合に、浸水が想定される区域(高潮浸水想定区域)、想定される浸水の継続時間を表示した図面です。
- この図で示す高潮浸水想定区域等は、海岸保全施設や高潮の影響を受ける河川施設の整備状況を踏まえた上で、高潮に加え計画規模の降雨による洪水も考慮した浸水の状況を、シミュレーションにより想定したものです。作成にあたっては、台風の経路や堤防が決壊する条件を想定した複数のシミュレーションを行い、それらの結果から各地点の最長となる浸水の継続時間を抽出し統合しています。
- なお、シミュレーションは、想定し得る最大規模の高潮を対象に実施していますが、それをさらに上回る規模の高潮の発生や、想定し得る最大規模の洪水との同時発生、地震による堤防等への影響、下水道や地下鉄等の地下施設による影響等を考慮していません。このため、実際の高潮時には、高潮浸水想定区域以外の場所においても浸水が発生する場合や、浸水の継続時間が異なる場合があります。

## 2 基本事項等

- 作成主体  
東京都(港湾局、建設局)
- 作成年月日  
平成30年3月30日
- 対象となる海岸  
多摩川河口(神奈川県境)から旧江戸川河口(千葉県境)まで
- 作成の前提となる高潮  
上陸時中心気圧910hPa、最大旋衡風速半径75km、移動速度73km/hの台風による高潮
- 関係区  
千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、北区、荒川区、板橋区、足立区、葛飾区、江戸川区

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分1地形図を複製したものである。

(承認番号 平29情復、第1433号)

承認を得て作成した複製品を第三者がさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

# 東京都高潮浸水想定区域図 [想定最大規模] (浸水継続時間)

